



## コール接続時の RADIUS 暫定アップデート

コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能では、課金サーバにコール接続のタイムスタンプを提供する追加のアカウントングレコードが生成されます。

- [機能情報の確認 \(1 ページ\)](#)
- [コール接続時の RADIUS 暫定アップデートに関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能を有効化する方法 \(2 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(3 ページ\)](#)
- [コール接続時の RADIUS 暫定アップデートの機能情報 \(4 ページ\)](#)

### 機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、「[Bug Search Tool](#)」およびご使用のプラットフォームおよびソフトウェアリリースのリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明される機能に関する情報、および各機能がサポートされるリリースの一覧については、機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

### コール接続時の RADIUS 暫定アップデートに関する情報

コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能を有効にすると、Cisco IOS ソフトウェアは、コール ログが接続されたときに、追加の更新済み中間アカウントングレコードを生成してアカウントングサーバに送信します。コール ログは、Voice over IP (VoIP) ネットワーク内のコール接続の別個のセグメントであり、ルータと、ベアラ チャネルを介したテレフォニー エンドポイントまたはセッションプロトコルを使用した別のエンドポイントとの間の論理的な接続です。コール接続時に使用可能なすべての属性 (h323-connect-time や backward-call-indicators など) がこの更新済み中間アカウントングレコードによって送信されます。

# コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能を有効化する方法

次のタスクを実行して、コール レッグが接続されたときに、Cisco IOS で追加の更新済み中間 アカウンティング レコードを生成してアカウンティング サーバに送信できるようにします。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **aaa new-model**
4. **gw-accounting aaa**
5. **aaa accounting update newinfo**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>aaa new-model</b> 例： Router(config)# aaa new-model	認証、認可、およびアカウンティング (AAA) を有効化します。
ステップ 4	<b>gw-accounting aaa</b> 例： Router(config)# gw-accounting aaa	AAA システムを通じてアカウンティングを有効化し、コール詳細レコード (CDR) をベンダー固有属性 (VSA) の形式で RADIUS サーバに送信します。
ステップ 5	<b>aaa accounting update newinfo</b> 例： Router(config)# aaa accounting update newinfo	問題のユーザに関する新しいアカウンティング情報が生成されるたびに、一時アカウンティングレコードを定期的にあカウンティングサーバに送信できるようにします。

## その他の参考資料

次の項で、コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能に関する参考資料を紹介します。

### 関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
認証、許可、アカウントिंग (AAA)	「Configuring Authentication」、「Configuring Authorization」、および「Configuring Accounting」モジュール。
RADIUS ベンダー固有属性	「RADIUS Vendor-Proprietary Attributes」モジュール。
ダイナミック プロンプトの設定、アカウントングテンプレートのカスタマイズ、および音声ゲートウェイへの AAA 要求の転送	『Cisco IOS Dial Technologies Configuration Guide, Release 12.4T』 および 『Cisco IOS VPDN Configuration Guide, Release 12.4T』。

### 標準

標準	タイトル
なし。	--

### MIB

MIB	MIB のリンク
なし。	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 <a href="http://www.cisco.com/go/mibs">http://www.cisco.com/go/mibs</a>

### RFC

RFC	タイトル
RFC 2138	『Remote Authentication Dial In User Service (RADIUS)』
RFC 2139	『RADIUS Accounting』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンライン リソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a></p>

## コール接続時の RADIUS 暫定アップデートの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: コール接続時の RADIUS 暫定アップデートの機能情報

機能名	リリース	機能情報
<p>コール接続時の RADIUS 暫定アップデート</p>	<p>Cisco IOS XE Release 3.9S</p>	<p>コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能では、課金サーバにコール接続のタイムスタンプを提供する追加のアカウントング レコードが生成されます。</p> <p>次のコマンドが導入または変更されました。 <b>gw-accounting aaa</b> および <b>aaa accounting update</b></p>